

# ニュージーランド準備銀行は政策金利を据え置き

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は9会合連続で政策金利を据え置き。次回会合よりRBNZは新体制に移行へ。
- 17年10-12月期の実質GDPは天候要因により市場予想を下回る。RBNZは先行きの景気の強含みを予想。
- RBNZは短期的にはインフレ圧力の低下を予想しつつ、中期的には目標水準へのインフレ率の持ち直しを見込む。
- RBNZの金融政策は当面、様子見姿勢が維持される公算が高く、乳製品価格の動向がNZドル相場を左右する要因に。

## RBNZは9会合連続で政策金利の据え置きを決定

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は3月22日、大方の市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置き決定を下しました。政策金利据え置きは9会合連続となります。

スポンサー総裁代行は「相当な期間にわたって緩和的な金融政策が維持されるだろう」と述べ、引き続き、中立的な金融政策を維持する姿勢を示唆しました。RBNZの新総裁のエイドリアン・オア氏は3月27日に就任予定であることから、次回5月10日の政策決定会合よりRBNZの金融政策運営は新体制に移行することになります。

## 天候要因から市場予想を下回った実質GDP

ニュージーランドの2017年10-12月期の実質GDP成長率は前期比+0.6%と市場予想(前期比+0.8%)を下回りました。前年比でも+2.9%と市場予想(前年比+3.1%)を下回る結果となりました(図1)。

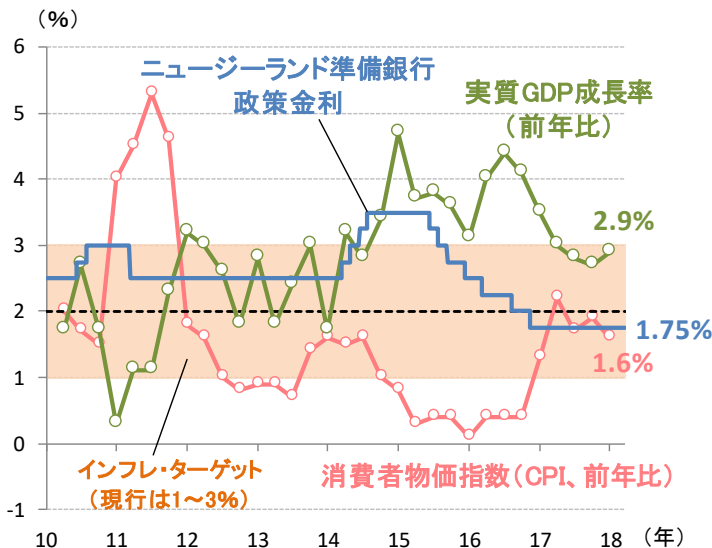
RBNZの声明文によれば、10-12月期の景気弱含みは主に悪天候による農業生産の落ち込みによるものとみられています(同期の農林漁業セクターの実質GDPは前期比-3.2%)。もっとも、先行きに関しては、緩和的な金融政策、交易条件の改善、政府支出、人口増加などに支えられ、RBNZは景気の強含みを予想しています。

## 乳製品価格がNZドル相場を左右する要因に

一方、物価見通しに関しては、RBNZは食品・エネルギー価格の低下などにより短期的にインフレ圧力が一段と弱まるとの見方を示しつつも、中期的にインフレ率はターゲット・レンジの中心へ向け上向くと予想しています。

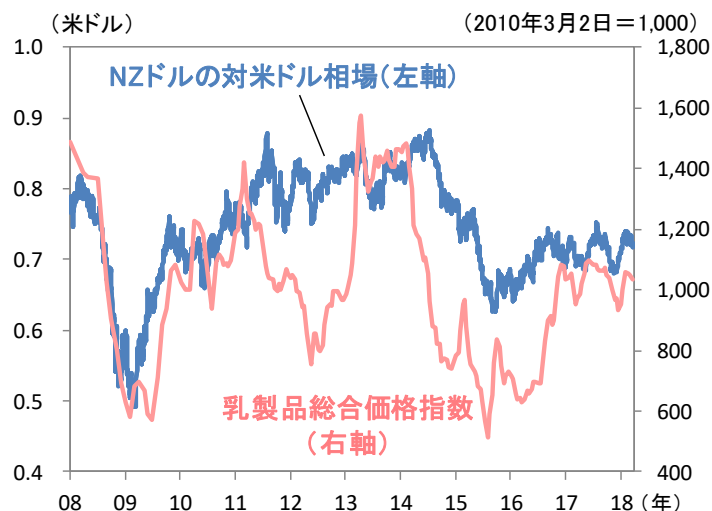
当面のRBNZの金融政策は様子見姿勢が維持される公算が高いことから、為替市場では主要輸出品目である乳製品価格の動向などの交易条件がNZドル相場を左右する要因となりそうです(図2)。

図1: ニュージーランドの政策金利とインフレ率



(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局  
(期間)政策金利: 2010年1月5日~2018年3月22日  
CPI・GDP: 2010年1-3月期~2017年10-12月期

図2: NZドル相場と乳製品価格の推移



(出所)ブルームバーグ、Global Dairy Trade  
(期間)2008年1月1日~2018年3月22日  
(乳製品価格は3月20日まで)

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。